

LEDネオンフレックス DS08-F1 加工マニュアル

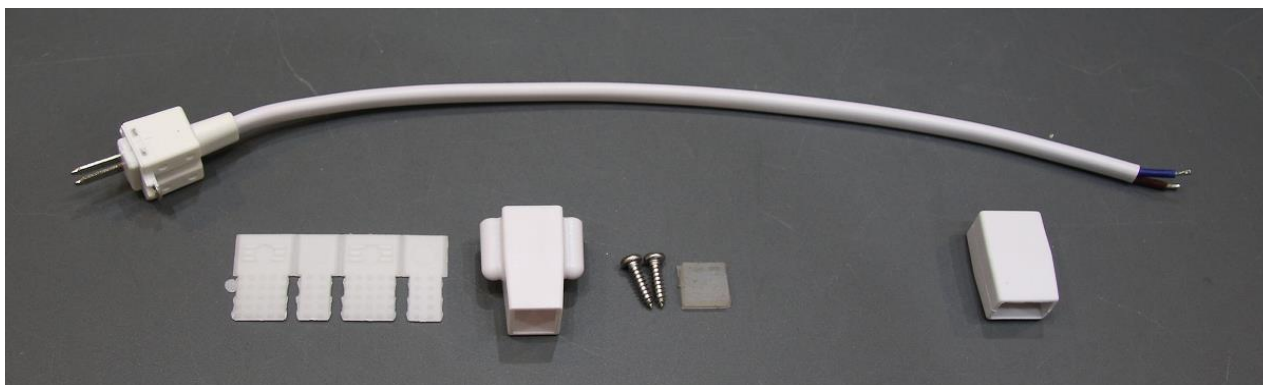
(旧名称「LEDネオンフレックス 2216型」)

2018/2/14作成 2019/8/30更新 Ver1.0.1

0. はじめに

このマニュアルでは、LEDネオンフレックス DS08-F1 (旧名称「2216型」) のカット方法、エンドキャップの取付方法、電源入力ケーブルの取付方法についてご案内いたします。

1. 部位の名称

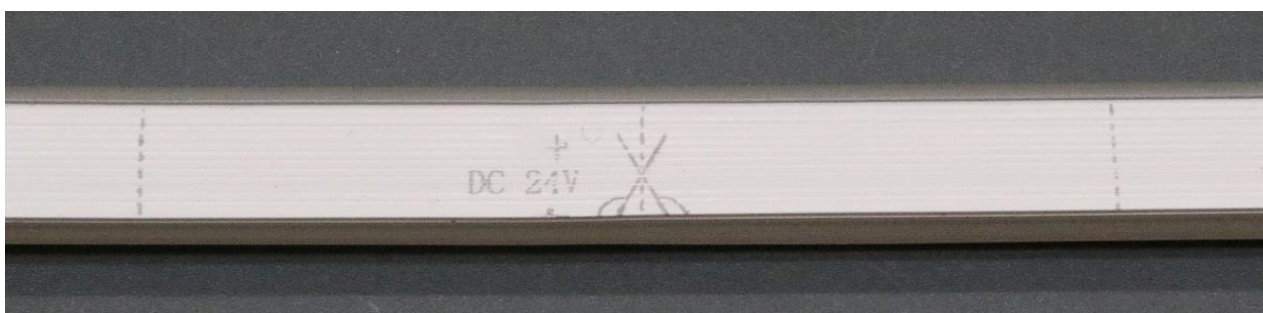


画像上が「電源入力ケーブル (2芯先バラ) 」

画像左下から「固定キャップ用滑り止めテープ」「固定キャップ」「固定キャップ用ネジ」「防水シリコン」
ここまでが「電源入力ケーブル(2芯先バラ)、固定キャップ付」一式になります。

画像右下が「エンドキャップ」になります。

2. カット方法

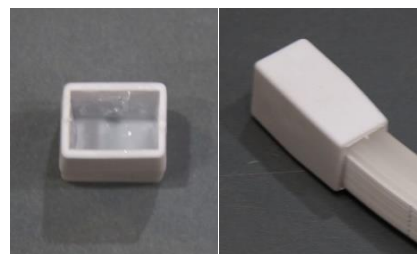


本ネオンフレックスには 38.5mm単位でカットラインが入っています。

カットラインの位置でカッターやケーブル用ハサミ等を使用してできるだけまっすぐ垂直にカットしてください。カットライン以外でカットすると不点灯になりますのでご注意ください。

3. エンドキャップ取付方法

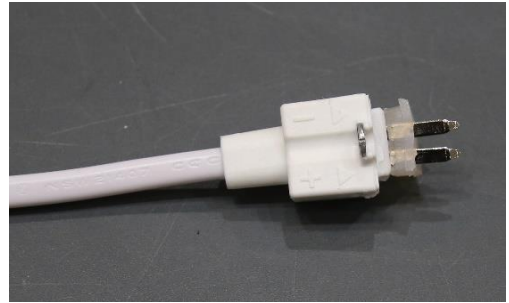
カット面はエンドキャップで絶縁・保護する必要があります。
エンドキャップの内側に接着剤をつけ、ネオンフレックス本体の
エンド側カット面に取り付けてください。



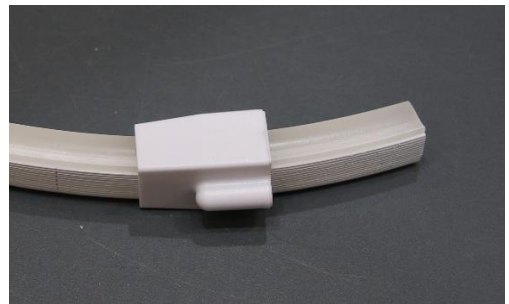
4. 電源入力ケーブル取付方法

カットした残りのネオンフレックスを使用する場合は、専用の電源ケーブルを取り付ける必要があります。以下に取付手順をご案内いたします。

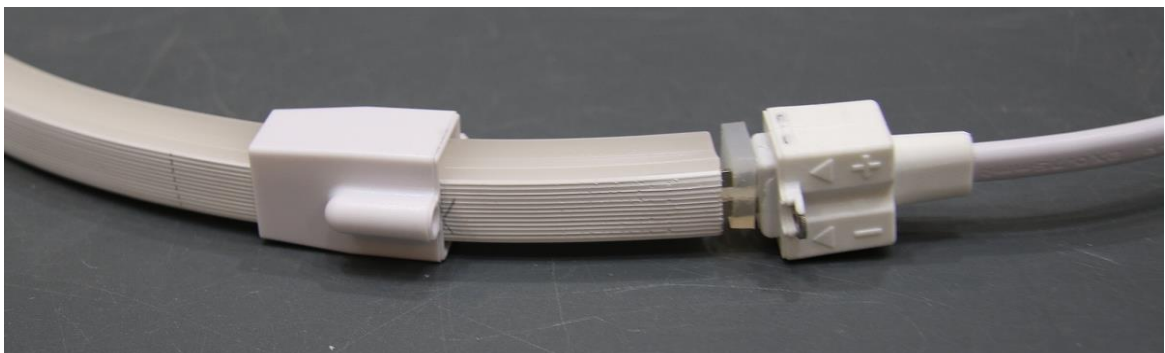
- 4-1. 電源入力ケーブルのネオンフレックス接続コネクタの針に、防水シリコンを取り付けます。シリコンの2つの穴にケーブルの針を差し込んでください。



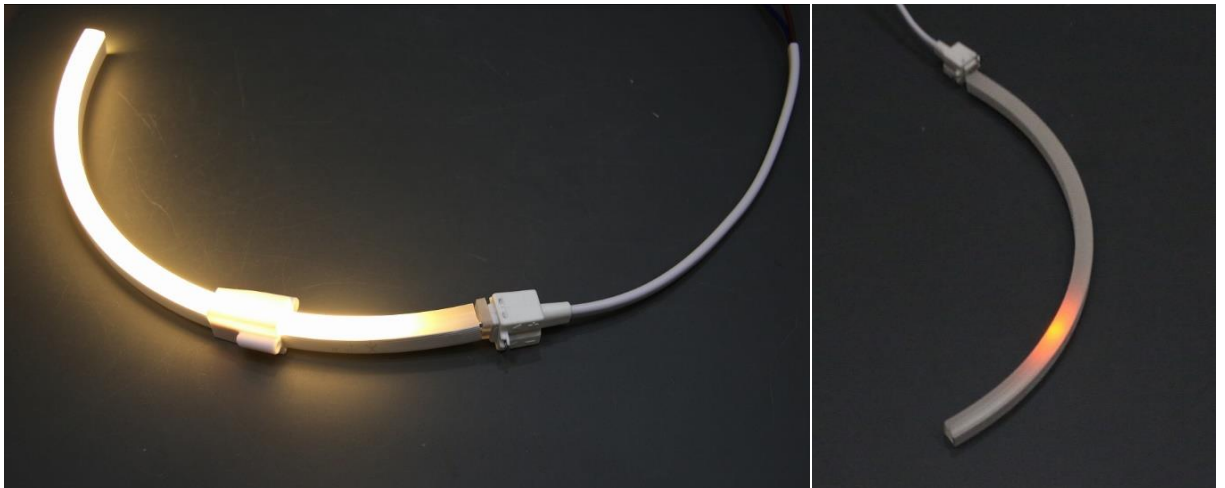
- 4-2. ネオンフレックス本体のリード側（電源入力側）に固定キャップを通します。



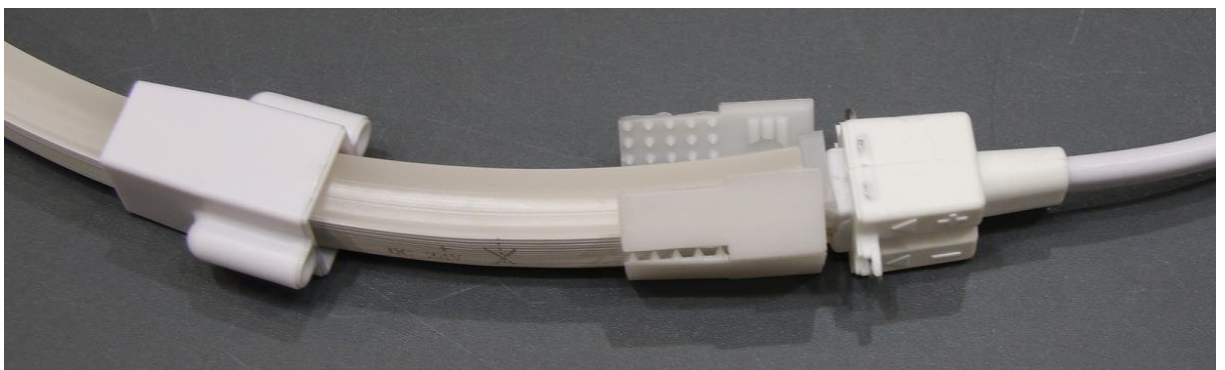
- 4-3. ネオンフレックス本体リード側の基板裏面とカバーの隙間に、電源入力ケーブルの針を差し込みます。
ネオンフレックスと電源ケーブルには極性（+，-）がありますので、向きを正しく取り付ける必要があります。電源入力ケーブルコネクタ部分の +マークがネオンフレックスの発光面側になるように取り付けてください。



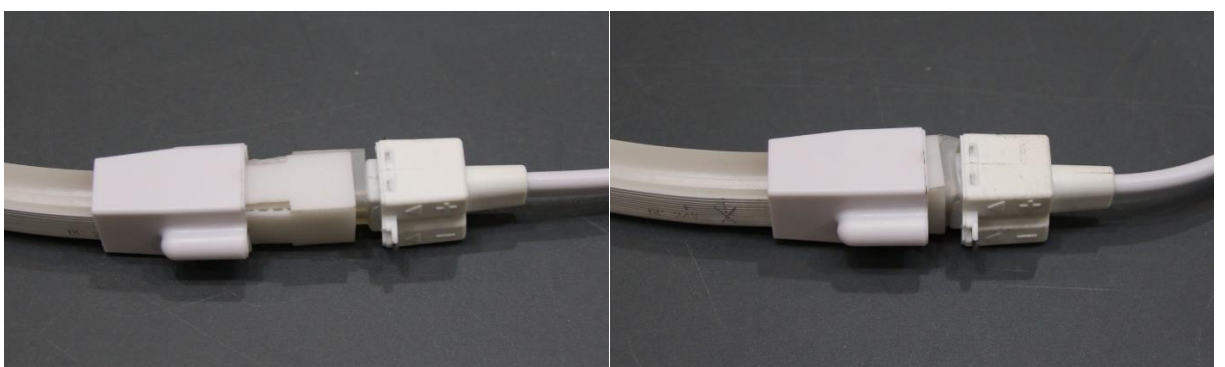
- 4-4. この状態で一度点灯チェックを行います。
電源入力ケーブルの先バラ線を DC24V電源（電源未投入）に接続してください。
茶色の線が+、青の線が-の入力になります。
接続後、DC電源に電源を投入すると、写真左側のように点灯します。
写真右側のように一部だけ点灯する場合は、極性を間違えて接続している可能性がありますので、DC電源と電源入力ケーブルの接続・ネオンフレックスに接続したコネクタの向きなどを今一度ご確認ください。
正常に点灯することを確認したらDC電源をオフにし、電源入力ケーブルを電源から取り外してください。



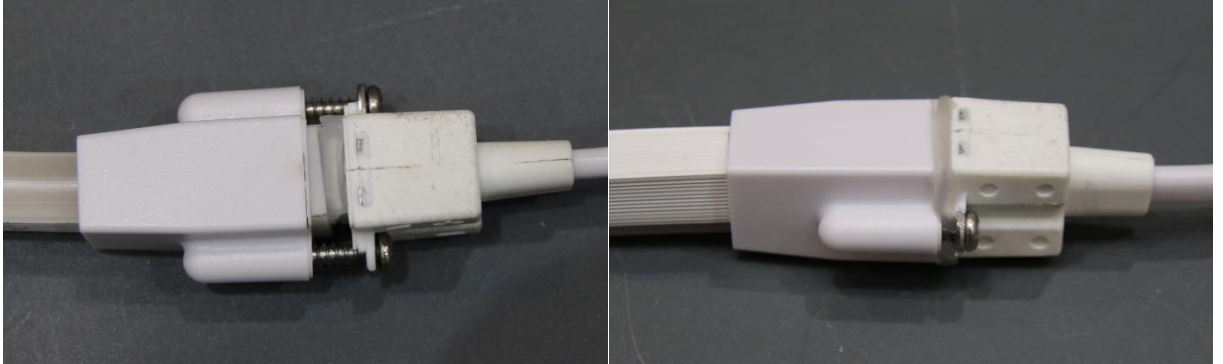
- 4-5. 滑り止めテープを折り曲げて、ネオンフレックス本体のリード側（電源入力側）の根元部分に巻きつけます。



- 4-6. 滑り止めテープが内側になるように固定キャップをスライドさせ、さらにネオンフレックス本体リード側の根元近くまで固定キャップを押し込みます。



- 4-7. コネクタ両側の穴にネジを通して固定キャップのネジ穴に入れ、ドライバーでネジを締めてください。左右両側を交互に少しずつ締めるときれいに仕上がります。
この時、防水シリコンが固定キャップとコネクタの間からはみ出してくるのが正常な取り付け方です。はみ出したシリコンは取り除いてください。
シリコンがはみ出してこない場合は、コネクタとネオンフレックス本体の間に隙間があり、防水が十分でない可能性があります。



- 4-8. 再度点灯チェックを行い、正常に点灯したら電源ケーブルの取付は完了です。

エンド側が未処理の場合は「3. エンドキャップ取付方法」をご確認の上
エンドキャップを取り付けてください。

